

(47) 岐阜県管内図 (第 74 図)

年代 明治時代中頃

寸法 63×44 四縮尺 30 万分の 1

所蔵 高山市教育委員会 (角竹文庫)

明治初年の基本地図に、県道、国道が赤線で記入されている。北から越中東街道（東茂住から神原峠越えて細江村に至る）、越中西街道（細江村で合流）が記され、古川町、高山町、下呂村に至る。下呂からは中津川と関方面に分岐する。

神淵村から東方向に進み、下麻生町で飛騨川沿いの道路に入り、太田町（美濃太田）に至る道が記され、県道として格付けがあった。金山町から下麻生町までの飛騨川沿い道路は、江戸時代から人馬道として整備されていたのだが、この地図ではまだ県道になっていない。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。